



そうだ、 旅に でよう!

「チクチクのおばけりょこう」
(913フ) 舟崎克彦作

はりねずみのチクチクが大森の味
りか帰ってきました。おと
かちにはチクチクの話にの
たは「くらし」を「きせき
!から脱出した。」「そらとぶ
おばけもの」を「きせきの
おっこでやっつけたり...。でも、
ちおと待って。それってほんとに
おばけだったのかな...?

「旅ねずみ」
(913マ) 松居スーザン作

「今日からぼくは旅ねずみ。ひ
ろい世界をかけめぐって生きる
んだ!!」小さな森しか知らない
タルーンは、ある日決意し
ます。小川の流水に身をまか
せ、北極星のかがやく方へ。
気ままなひとり旅はどきどき
わくわくすることばかり。
でも、せんちせな子ねずみに出
会ったタルーンは気づいてしま
います。「きれいなものをひと
りで見るより、だれかと見たほ
うが、ずっといい」といふこ
と。

「郵便屋さんの話」
(989チ) カレル・チャペック作

郵便屋のコレバさんは、ある
日宛名のない手紙を見つけました。
困ったコレバさんは、手紙を開
けなくても内容を知らなくて
みる、郵便局に住む小人に聞
みます。するとそれは、マシエン
カさんというお嬢さんに宛てられ
たプロポーズの手紙だとか。
そんな大事な手紙なら、せ
に届けなくっちゃ!!
でもいったいどこのマシエン
さん? コレバさんは、マシエン
カさんをさがす旅に出ますが...

「ササfras・スプリングスの
七不思議」
(933バ) ベティ・G・バーニイ作

田舎町ササfras・スプリン
グスでの生活にうんざりしている
エバンは「世界の七不思議」にあ
が水ている。いつか自分も冒険
家のように、世界中を旅してみた
い。ある日、父さんが賭けを
持ち出した。「この町で七不
思議を見つけられたら、コロラド
までの汽車の切符を買ってあげ
よう」。
こんなつまらない町で不思議
なんて見つかりっこないも
とを思っていたエバンだけだ...

「虎と月」
(913ヤ) 柳広司作

ぼくの父の名は薩西の季徴。
旅先で突然行方不明になった。
ある日、父の友人から手紙が届く。
なんと父は虎になっていたという。
父の不在に慣れていたぼくだけだ。
そんな話を聞いては落ち着いて
いられない。だって、ぼくも
いつか虎になってしまうのでは
ないかー?
父が虎になった理由を知りたい。
い。それが、おどろくべき真実
へとつづく旅のはじまりだった...。
中島敦の「山月記」をもとに
した物語。